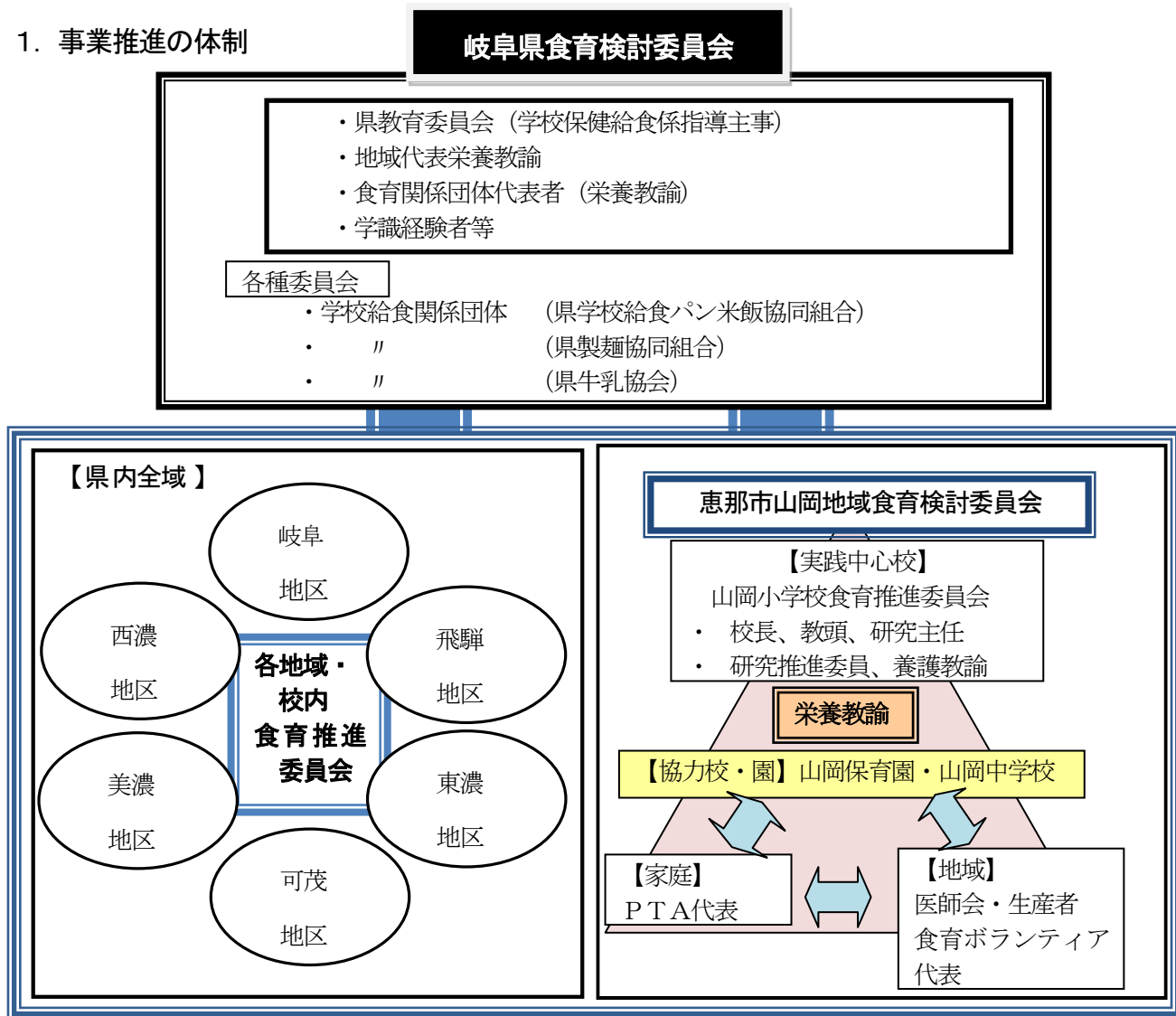


栄養教諭を中核とした食育推進事業 事業結果報告書

都道府県名	岐阜県
再委託先名	恵那市

1. 事業推進の体制



2. 事業内容

テーマ1	学校と家庭がつながる食育 -食が分かる・食を作る・食を働きかけるぎふの子-
1. 家庭の望ましい食生活を支援するための学校・家庭・地域の連携づくり	
(1) 岐阜県食育検討委員会の活動の工夫	
①目的及び活動内容	
児童生徒が望ましい食習慣や食に関する正しい知識・食の選択能力等を身に付けることができるよう、食育推進地域の成果を参考に県内各地域の食育推進体制を整備する。また、県や各地域の食育推進課題の検討及び食育推進地域の成果の実践の普及に努め、県内全域での食育の充実を図る。	
②構成：スポーツ健康課指導主事，各地区栄養教諭代表，学校給食関係者団体代表者，学識経験者等	
③活動の経過	

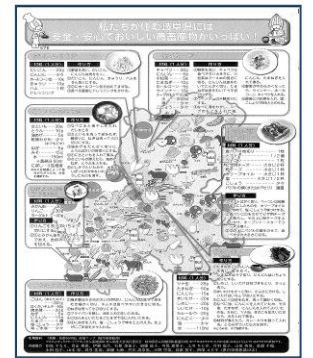
【第1回岐阜県食育検討委員会】

- ア 事業説明や活動内容について
 - ・24年度の食育の重点と事業計画
- イ 協議内容
 - ・パンを中心とした学校給食及び食育について（栄養教諭より実践提案）
 - ・学校給食パン米飯協同組合と各地区栄養教諭との意見交流
- ウ（第2部）栄養教諭と地域の食育推進体制の状況報告



【第2回岐阜県食育検討委員会】

- ア 事業説明や活動内容について
- イ 協議内容
 - ・麺を中心とした学校給食及び食育について（栄養教諭より実践提案）
 - ・製麺協同組合学校給食部会と地区栄養教諭との意見交流
- ウ（第2部）栄養教諭と地域の食育推進体制の状況報告



【第3回岐阜県食育検討委員会】

- ア 事業説明や活動内容について
- イ 協議内容
 - ・牛乳を活用した学校給食及び食育について（栄養教諭より実践提案）
 - ・学校給食牛乳協議会地区栄養教諭との意見交流
- ウ（第2部）食育実践事例の作成に向けて
 - ・第2回学校給食あゆみ展の開催について

【第4回岐阜県食育検討委員会】

- ア 今年度の学校給食実態調査の結果報告と児童生徒の食生活の傾向について
- イ 実態調査を踏まえての各地域の食育の進捗報告
- ウ 食育実践事例の検討
- エ 来年度の活動方向について



(2) 学校と家庭をつなぐ食実践プロジェクト「家庭の食育マイスター」推進事業の実施

①目的及び目指す子ども・家庭の姿

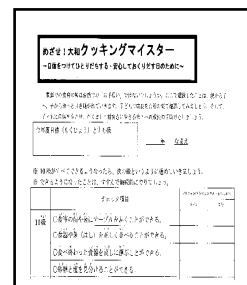
- ・県内の小学校6年生全員を「家庭の食育マイスター」に委嘱し、児童自らが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを自覚するとともに、家庭において食育の話題を提供することにより、児童を中心とした家庭内の食育の普及を推進する。

- 【学校で学んだことを家庭で実践できる】
- 【学校と家庭を『子どもの手』でつなぐ】
- 【親と子がお互いに家族の一員として自覚し合う】



② 経過

- ア 食育マイスターのリーフレットの再校正と印刷及び配付
 - ・岐阜県産品を中心とした、家庭でできる朝食づくりに見合うレシピの導入
- イ「家庭の食育マイスター」委嘱状の交付
 - ・代表校における委嘱状交付式
 - 場所：岐阜市立本荘小学校
 - 日時：平成24年7月12日（木）午前10時45分から11時30分
 - 対象児童：第6学年児童
 - 内容：委嘱状交付、岐阜県教育委員会挨拶、学校長の激励、本荘小学校の食育マイスター宣言
- ウ 県内各学校の委嘱状交付式
 - 全校放送による委嘱、児童委員会との連携、学年集会等



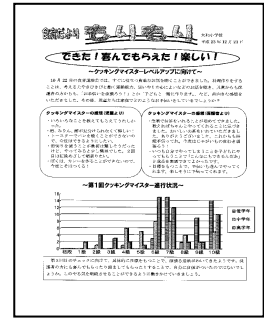
エ 実践小学校 (例)

- ・「めざせ！大和クッキングマイスター」(＝手伝い段級表) 活動

対象：全校児童

目的：台所での手伝いを通して、児童が自分で料理を作ることに関心をもち、自分でも意欲的に料理を作ることができるようにする。

内容：お手伝い段級表の内容をPTA母親委員会と検討して実施。



2 栄養教諭の地域における食育リーダーとしての役割の明確化

(1) 学校内外の食育推進体制の整備

①食に関する指導の充実のための校内食育推進委員会におけるコーディネート (単独校)

- ・養護教諭や給食主任と連携した学校保健委員会と関連させた資料提案の工夫

- ・衛生的な給食配膳のための児童生徒及び教職員への指導

②地域の実情を踏まえた地域食育検討委員会のコーディネート (共同調理場)

- ・委員会の構成員として保護者・学校医・保健所の協力を積極的に図る。
- ・中学校区の検討委員会の立ち上げを地域内の栄養教諭と連携

③家庭・地域のコーディネート

(単独校, 共同調理場)

- ・食育研修会・食育講演会の企画
- ・地域の食関係者団体の協力を得た食に関する指導の実践 (学校給食パン米飯協同組合, 製麺協同組合学校給食部会)
- ・市町村の商工農政課担当との連携によるJAを通じた委員会の実施 (地産地消推進委員会)
- ・19日に食育講座と給食試食会 (地域に募集) の実施
- ・PTA連合会との協力で実施する給食センター巡り
- ・給食体験学習 (夏休みの初日に給食室を公開)



(2) 学校の教育活動全体を通して行う食に関する指導の充実

①発達段階を踏まえた指導計画の改善「事例：小学校」

1年生：さつまいも作り, 給食のひみつ

2年生：夏野菜作り

3年生：大豆栽培と豆腐づくり

4年生：町のくらしと地域の特産物

5年生：地産地消と大根作り

6年生：家庭科：調理実習「朝ごはん作り」と関連させた食育マイスターの活用



②教科等の関連を踏まえた指導計画の改善「事例：5年生」

家庭科：「おいしいね毎日の食事」

給食の時間：「苦手なものにもチャレンジしよう」

社会：「これからの食料生産とわたしたち」

学級活動：「野菜たっぷりの朝食を作ろう」

給食の時間：「給食の野菜料理を取り入れてみよう」

冬休みの家庭での食事作りの参加「野菜たっぷりの朝食」



③地場産物の活用を生かした指導

- ・行政との連携 (地産地消推進委員会の開催)
- ・生産者との連携 (給食センター訪問, 授業参観や給食試食会における活動公開)
- ・学校との連携 (生活科における「大豆博士になろう」の栽培指導や豆腐づくり, 味噌作りなどのふるさと調理体験指導)



(3) 子どもを通して家庭の食育に対する意識の向上を図るための指導プログラムの作成

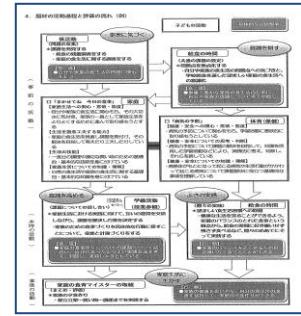
- ・食育実践事例集の検討

(小学校)

- 「学校給食のメニューを考えよう」
- 「わくわく給食の献立を作ろう」
- 「朝ごはんをしっかり食べよう」
- 「偏りなく食べよう」
- 「朝食の大切さを知り、自分の食時に生かそう」

(中学校)

- 「生活習慣病と食生活のかかわりについて考え自分の食生活を改善しよう」



3 学校と家庭、地域の連携による食育の普及啓発

(1) 学校給食を中心とした食育展示会の開催

第2回岐阜県の学校給食あゆみ展 in 東濃

サブテーマ：～東濃の味を子どもたちへ～

①目的

- ・本県の学校給食の歴史を振り返り、学校給食が果たしてきた役割と食の大切さを、子どもや保護者をはじめ、広く地域住民に知らせることで、学校給食への理解と家庭における食育への関心深める。

②開催日時：平成24年11月18日（日）

③開催場所：東美濃ふれあいセンターアリーナ

「第8回ひがしみの農業祭会場」

④内容： ア展示内容＝各地域の食育の取り組み（山岡地域の指定校の取り組み）

地元食材を使った給食献立

人気給食献立

地元食材を使った食品（給食会物資）

1日に必要な野菜

イ体験学習＝地産地消に関わるクイズラリー 豆つかみゲーム

太巻き寿司作り（JA食のリーダー主催の行事に参加）

豆料理（チョコタフィー）の試食

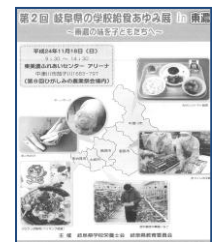
衛生検査

ウ「開催チラシ」、「おすすめ給食レシピ集」の作成と配付

地区学校栄養士会の協力

各市のお勧め給食料理の募集

県内の各学校に配布（児童生徒、地域の幼・保育園に配付）



(2) 地域の特徴を生かした食育の推進

①「ふるさとの日」「岐阜の食事」の献立表やHPへの掲載による食文化の啓発

- ・献立表に生産者の様子や食育の関係者の取組を掲載する情報提供
- ・岐阜県産品の使用日の記載、地域のキャラクターの活用

②岐阜県学校栄養士会と連携した学校給食週間の実施

- ・食に関する指導の人材として、学校給食パン米飯協同組合のパン製造業者による地域の学校の訪問指導

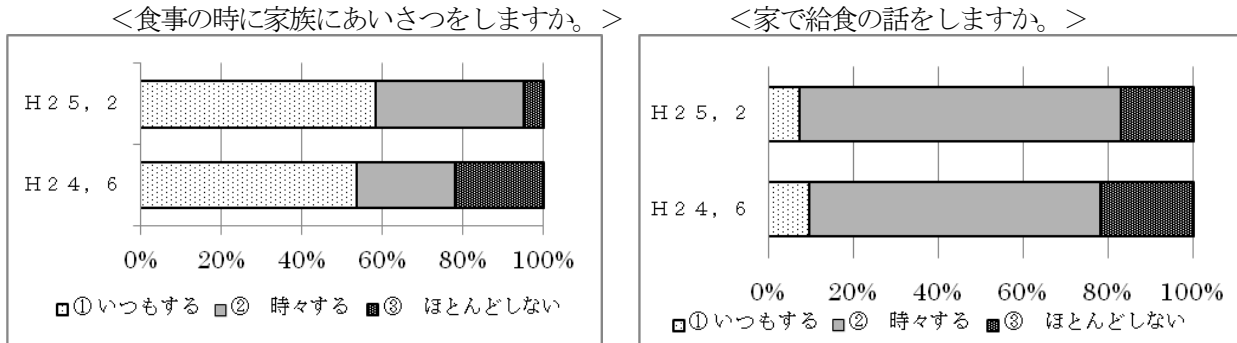


テーマ1の具体的計画

(1) 「家庭の食育マイスター」推進事業の実施

- 学校と家庭をつなぐ食実践プロジェクト「家庭の食育マイスター」推進事業において、家庭科の調理実習で学習した内容を学校給食で確かめることを通して、食事の大切さや楽しさを、自ら、家族に向けて働きかけた。家庭においての給食の話をする児童や食事のあいさつをする児童が増えてきた。

6年生を対象にした家族に働きかけた食に関するアンケート結果（推進校）



本事業における評価指標と考察

1. 「家庭の望ましい食生活を支援するための学校・家庭・地域の連携づくり」

①地域食育推進委員会等の食育推進体制の充実

- 岐阜県食育検討委員会では、地域の学校給食関係者である「学校給食パン米飯協同組合」「製麺協同組合学校給食部会」「学校給食牛乳協議会」の参加による協議は、現在の食育の推進状況について理解を深めることができた。
- 食育推進の組織や推進体制の整備の状況は、各地域によって実施の体制が異なるため、県主催の学校給食担当者会等の研修会や各教育事務所を通して体制等が整備されていないところへの指導等により、各市町村に働きかけを行なった。その結果、地域の食育推進体制の整備は着実に図られて、体制の内容や実施回数も充実されてきた。

【県内の食育推進計画作成状況】

平成24年3月 22市町村 (52.4%) → 平成25年3月 27市町村 (64.3%)

【公立小中学校の食に関する指導の全体計画及び年間指導計画の作成状況】

小学校 100% (H23) → 100% (H24) 中学校 100% (H23) → 100% (H24)

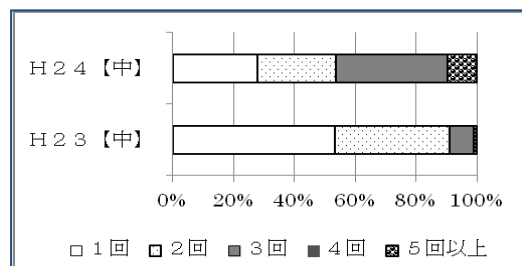
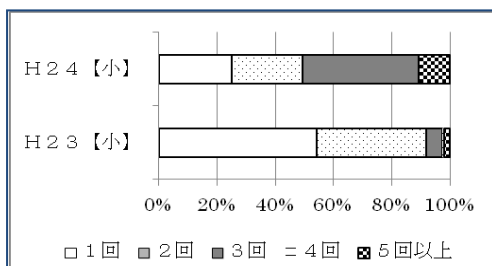
【公立小中学校の給食の時間における食に関する年間指導計画の作成状況】

小学校 86.4% (H23) → 89.6% (H24) 中学校 78.1% (H23) → 84.5% (H24)

【公立小中学校における地域食育推進体制の整備状況 ① 設置】

小学校 38.4% (H23) → 41.7% (H24) 中学校 47.1% (H24) → 50.3% (H24)

【公立小中学校における地域食育推進体制の整備状況 ② 開催回数】

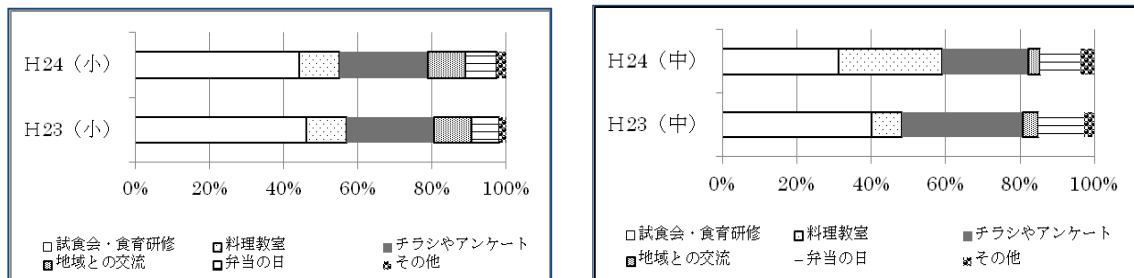


本事業の成果

「栄養教諭の地域における食育リーダーとしての役割の明確化」

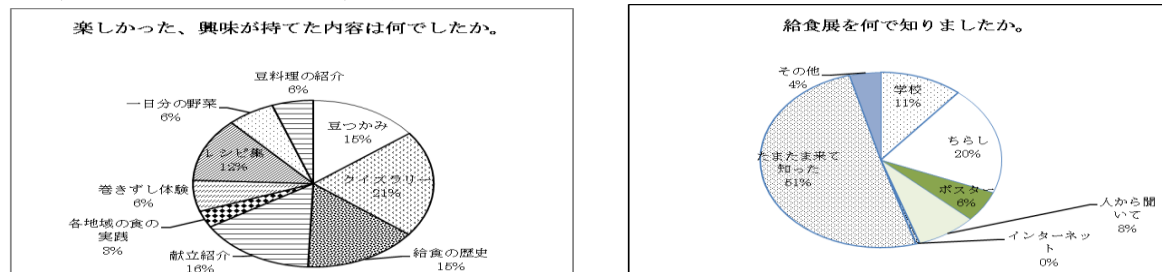
- ・共同調理場の栄養教諭であっても、所属校を中心に兼務校の食に関する指導の全体計画や年間指導計画の作成に参画し、なおかつ、効果的な指導を進める際には、給食献立計画との関連付けを積極的に図るようになった。
- ・栄養報告の残量調査や県の学校給食実態調査を分析し、学校保健委員会や地域食育推進委員会等で保育園（幼稚園）から中学校までの発達段階を見通した課題に対しての取組に対して、保護者や学校医等の共通理解を図るようになった。
- ・地域や家庭と連携した取組内容は、中学校において、料理教室や弁当の日などの体験的活動の実施が増えてきた。

家庭や地域と取り組んだ事例について（岐阜県）



「学校と家庭、地域の連携による食育の普及啓発」

- ・学校給食を中心とした食育推進である「第2回岐阜県の学校給食あゆみ展」は、栄養教諭が地域の学校給食の特徴を盛り込んだチラシや、おすすめ学校給食レシピ集を配付することは、食への興味関心を高めるとともに、展示会への参加者の増加に繋がった。
- ・展示会の実施内容は、学校給食の歴史等を説明する展示だけでなく、「豆つかみ」「クイズラリー」等の体験は、地域の人たちにとって、食の大切や食の楽しさの重要性を実感できる取組であった。



今後の課題(今回の事業を実施した結果、新たに見えた課題)

1 「家庭の望ましい食生活を支援するための学校・家庭・地域の連携づくり」

- ・子どもが望ましい食習慣を身に付けていくためには、より学年間や異校種間との関連を図った指導計画を立てるとともに、確実に活用できる内容に見直していく必要がある。
- ・家庭の食育マイスター推進事業により、家庭の食に対する改善の様子があらわれてきたが、子どもが働きかけたことを、家族皆で食改善の取組を実践できるような内容を働きかけていく必要がある。

2 「栄養教諭の地域における食育リーダーとしての役割の明確化」

- ・学校と家庭、地域が連携し普及させていくための取組事例だけでなく、どのような働きかけをしたら、地域や家庭と連携できるかを具体的な内容を確立していきたい。
- ・教科等の学習と関連させた知識を意識と行動に結びつけることができるに、学級担任や教科担任と連携し食育のコーディネート力が必要である。

3 「学校と家庭、地域の連携による食育の普及啓発」

- ・学校栄養士会や食の関係団体との連携を図り、学校給食への理解を深めながら、社会教育施設や商業施設を活用した地域の特徴に照らし合わせた食育推進の展示会を実施し、さらに地域の食育の輪を広げていきたい。